



2024年度町田市町内会・自治会連合会 市政懇談会報告

町田市 10 地区をまとめる市連合の市政懇談会が、11 月 11 日に町田市民フォーラムで開催されました。町田市からは、石阪市長をはじめ議題に関係する担当部長が出席して詳細説明を行い、活発な質疑応答が行われました。また、石阪市長から町田市政全般について現状報告がありました。

地域の議題（課題）に関する主な説明は次のとおりです。

1. 「モノレールの早期実現」について

- ・完成に向けたスケジュールは、箱根ヶ崎方面延伸を 2030 年代前半を目指し、町田方面延伸はその 5 年後となる見込みです。そのため、町田都市計画道路 3・4・22 号の整備が必要となります。
- ・モノレール開業までの手順は、①東京都の事業化判断、②地形調査、基本設計及び都市計画の決定、③モノレールの軌道や駅舎の整備、④開業の順となります。
- ・導入空間となる都道の整備などを東京都に働きかけていきます。
- ・毎年市政懇談会などの場で、進捗状況説明会を行います。



回覧

2. 「いちのいち無償化のお願い」について

- ・「いちのいち」の導入状況は、2024 年 10 月現在で①登録団体は 156 団体、登録者は 5,000 人となっています。
- ・操作性の改善及び費用負担は、開発元の小田急電鉄株式会社と定期的に打合せをしながら進めます。
- ・国や東京都等のデジタル化支援情報を速やかに情報提供していきます。

3. 「境川の洪水対策」について

- ・神奈川県、東京都に計画的な整備の実施を要望しており、すでに「境川流域水害対策計画」が策定されています。
- ・下流域の藤沢市街地の流下能力がネックとなっていましたが、現在、藤沢市の境川遊水地辺りまで整備が進んでいます。



4. 「空家対策」について

- ・2024 年度 10 月現在で、改善を促している空き家は 408 件で、改善傾向にあります。
- ・2024 年 12 月に「空家等対策の推進に関する特別措置法」が一部改正されました。
- ・「特定空家等」になる恐れのある空家を「管理不全空家等」と決めました。これにより指導や勧告が可能となりますが、指導を受けると住宅用地特例が解除され、税額が上がります。この制度の周知は、空家等所有者 330 名に通知しています。なお、空家が周辺に危害を及ぼした場合は、原則として所有者の責任となります。

5. 「公園樹木の病害虫対策」について

- ・「ナラ」枯れによって、コナラやクヌギ、シラカシ等のブナ科のナラ類が枯れる樹木で伝染病が蔓延しています。
- ・町田市の公園・緑地のナラ枯れの状況は、2021 年度で約 4,000 本と推定されます。ナラ枯れの樹木の伐採状況は、2021 年度は 166 本、2022 年度は 263 本、2023 年度は 282 本となっています。
- ・公園利用者や近隣住宅に被害が及ぶ恐れのある樹木を優先的に伐採する予定です。